

閉鎖循環式養殖システムで飼養したバナメイエビと他のエビ類における筋肉中遊離アミノ酸含量の比較

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2024-08-06
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 奥津, 智之, 進士, 淳平, 野原, 節雄, 野村, 武史, 前野, 幸男, Wilder, M. N.
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010487

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



閉鎖循環式養殖システムで飼養したバナメイエビ と他のエビ類における筋肉中遊離アミノ酸含量の 比較

奥津智之・進士淳平・野原節雄・野村武史・
前野幸男・マーシー N. ワイルダー

閉鎖循環式屋内型エビ生産システム (ISPS) ではバナメイエビを 5 ppt の希釈海水で飼育しているが、甲殻類は低塩分中で体内遊離アミノ酸が減少するため食味の低下が懸念されている。そこで ISPS で生産されたバナメイエビの筋肉中遊離アミノ酸含量を調べ数種類の市販エビと比較した結果、ISPS バナメイエビの遊離アミノ酸含量は国内産クルマエビと同等で外国産エビより高かった。以上より ISPS は高付加価値のエビが生産できることが明らかとなった。